

「タッピーと考える防災入門」とは？

「防災って何？」、「災害が起こったら何をすればいいの？」などの疑問について、タッピーと一緒に学べるパンフレットです。

川柳風の五・七・五のフレーズで「身を守る」・「助けあう」・「備える」ことを分かりやすく紹介しています。

①まずは「身を守る」

「あらしなら
むやみに出かけず
家において」

強い風で物が飛んでくることもあります。道路に水があふれていると、穴があいていてもわかりません。冠水した道路の走行は自動車が故障する可能性があるので避けましょう。



思わぬ事故やけがにあわないよう、むやみに出かけないことが大切です。

ここに掲載しているのは、ほんの一部で、他にもたくさん学べることが載っています。ぜひ一度お読みください。



②「助けあう」こと

「大丈夫？」



まわりに声かけ
早めの避難」

風水害では、天候の悪化が見込まれ、大雨などで浸水の被害の恐れがある

ときは、早めに避難しましょう。そのときには、となり近所に声をかけましょう。地震のときにも、被害のようすや、けががないか、となり近所にも声をかけましょう。

③「備える」ことが大切

「訓練が

いざというとき

役に立つ」



地域の防災訓練に参加して、避難の時の行動や自分で身を守る方法、となり近所で助けあう方法などを身につけておきましょう。また、ご近所のみなさんとつながりを深め、地域の防災力をアップしましょう。

東区防災訓練を実施します

【日時】 9月3日(火) 9時～12時。

【場所】 開成小学校グラウンドおよび体育館
※荒天の場合は体育館のみで実施
(東区北21条東21丁目)。

【その他】 学校には駐車できません。
お越しの際には公共交通機関をご利用ください。なお、学校周辺の路上駐車はご遠慮ください。

【詳細】 総務企画課地域安全担当係
☎741-2409

東区では、防災意識の向上と災害時における各機関の相互協力体制を強化するため、毎年防災訓練を行っています。今年は開成小学校で実施しますので、ぜひご参加ください(事前の参加申し込みは不要です)。



■AED(自動体外式除細動器)の取り扱い訓練



■避難場所開設・運営訓練
※写真は昨年の様子です。

